

第5回 地方鉄道向け無線式列車制御システム技術評価検討会 概要

1. 日 時 : 令和5年2月27日(月) 10:30~12:00
2. 場 所 : 中央合同庁舎3号館6階 鉄道局大会議室
3. 出席者 : 中村日本大学名誉教授、古関東京大学教授、高橋日本大学教授、
研究機関、関連団体、鉄道事業者、国土交通省鉄道局、日本信号株式会社
4. 結果概要 :

日本信号から、地方鉄道向け無線式列車制御システムについて、進捗状況や現車試験の試験項目・内容の報告が行われた後、意見交換を実施した。

委員等からの主な発言は以下の通り。

- p.5で「地上子削減」としているのに、p.6で「地上子(新設)」となっており、どの地上子を削減したいのかわかりづらいので、「変周式地上子を削減する」と区別して記載すること。
- 「理想とするシステム」(p.5)はレベルが高い都市型のシステムに見えるが、地方鉄道向けにコスト削減を目的とした視点からの説明をすべきである。
- 「①通常走行から加減速タイミングを変更しての走行」(p.9)は何のために行うのか目的を記載すべきである。
- 車上装置の再起動時にシステム内外の判断はどのように行うのか。切替スイッチによる運用を考えているのであれば、資料に記載がないため資料に説明があるとよい。
- p.15 図において地上信号機の設置が必須であることが前提であると誤解を招かぬよう、「大雄山線のシステムを使って説明する」などの注意書きがあると良い。
- 「指令は全編成の在線位置を確認した上で装置を再起動する」(p.20)とあるが、確認作業は指令によって実施する前提だが、システムの機能のみで実施するのかと誤解されそうである。
- 日本信号は、鉄道総研の安全性評価で、地上装置の再起動や切替スイッチについては考慮されていたか。再度、そのような点を評価する必要があるか整理すること。